

宇都宮工場

1. 事業概要

住所	〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地22-2
従業員数	456名 (H29(2017).4.1現在)
敷地面積	145,479㎡ (建築面積76,667㎡)
操業	1969年5月
事業内容	当工場は、当社で国内唯一のコンバイン・乗用田植機という作業機の製造をしている工場です。 これら製品は季節性を特徴としており、工場ではお客様が必要なときに、必要なものを必要なだけ出荷できるモノ作り、すなわち年間を通じ量変動をさせる生産体制をとっております。 また海外に関しては、中国・タイ製造拠点でのマザー工場であり、アジアを中心にグローバルな事業展開をする上で、核となる工場となっております。



主要製品



DYNALITE NEO



FP FarmPilot



- ・コンバイン
 - ・田植機
- 等



宇都宮工場

2.環境方針

ISO環境方針

理 念

私たちは「地球規模で持続的な発展が可能な社会」「企業と市民が相互信頼のもとに共生する社会」の実現をめざし、地球環境の保全に配慮した企業活動を行います。

方 針

宇都宮工場は、農業機械及び周辺機器の製造とサービスにおけるあらゆるプロセスにおいて環境マネジメントシステムを確立・維持することにより、地球環境の保全に配慮した企業活動を実施いたします。

具体的推進案

1. 原材料の購入から使用、廃棄、回収と生産及びサービスの各段階において汚染の予防に努めます。また、生産方法の改善、使用原材料の見直し等、長期的で幅広い観点からの施策を実施し、環境負荷の継続的改善に努めます。
2. 国、地方自治体等の環境関連法・条例規制の遵守は勿論のこと、同意したその他の要求事項についても自主管理基準を設定し、維持することに努めます。
3. 環境負荷を低減するために、技術的、経済的に可能な範囲で達成すべき目標を定め、確実に実施するための環境マネジメントプログラムを明確にします。また、その実施状況を定期的に確認し、見直しを行うように努めます。
4. 環境管理活動の重要性を全従業員（従業員、協力会社社員、派遣社員、請負者含む）に徹底し、環境保全に対する意識の向上に努めます。
5. 地域での環境保全活動への参画、支援に積極的に取り組み、地域との共生に努めます。
6. この環境方針は、社会への責任を示すために、一般の人が求めに応じて入手可能なものとします。

2017年 7月1日
株式会社クボタ宇都宮工場
工場長 清水 清史

ISO認証取得状況

ISO14001認証を2000年12月に取得しました。そして2015年9月には5度目の更新審査をクリアし、6カ月ごとの外部サーベイランスと年2回の内部監査を実施して、環境マネジメントシステムの適切性を評価しています。

内部監査員は監査員教育を受けたメンバーで構成し、相互監査を通じて環境保全のレベルアップに取り組んでいます。

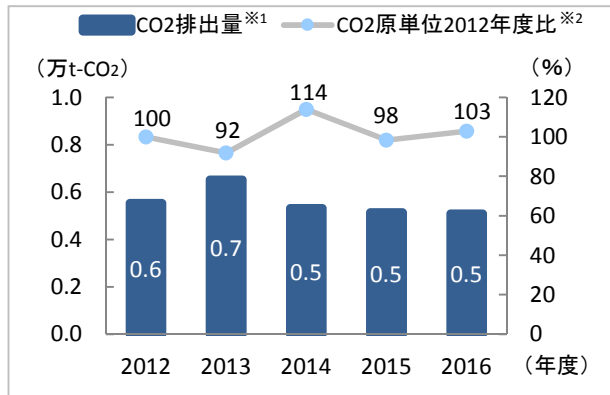
- 2000年12月 ISO14001認証取得
- 2005年 6月 2004年度版移行審査受審
- 2006年12月 第2回更新審査終了
- 2009年12月 第3回更新審査終了
- 2012年12月 第4回更新審査終了
- 2015年 9月 第5回更新審査終了

宇都宮工場

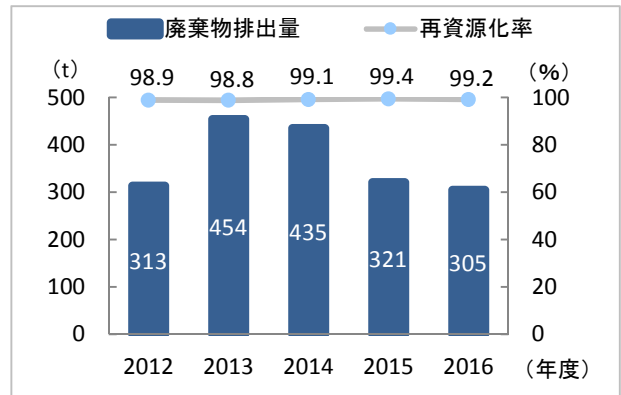
3.環境パフォーマンス

(1) 主要な環境指標の推移

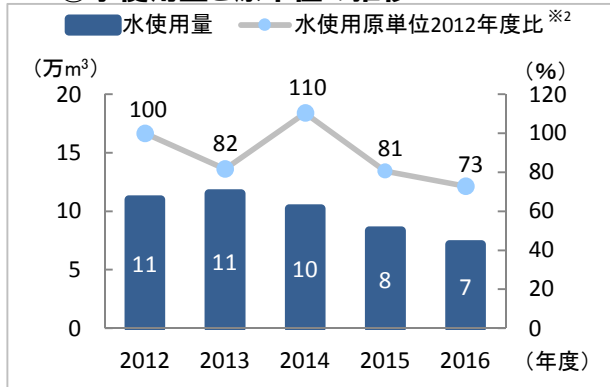
① CO₂排出量と原単位の推移



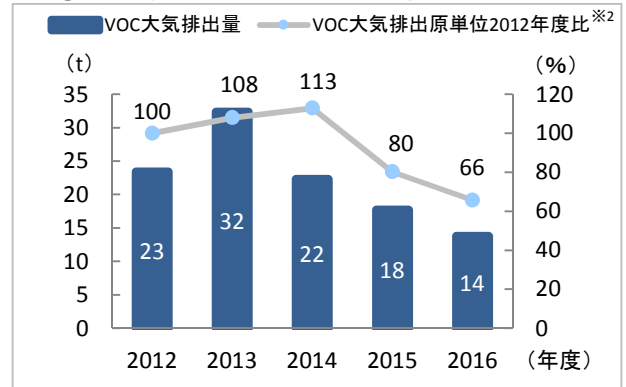
② 廃棄物排出量と再資源化率の推移



③ 水使用量と原単位の推移



④ VOC排出量と原単位の推移



※1 CO₂排出量はエネルギー起源のCO₂排出量です。エネルギー起源CO₂の算定において、電気の排出係数は各年度の値を使用します。

※2 2012年度における内作生産金額あたりの排出量(または使用量)を100とした場合の指数

※3 報告対象期間:2012-2015年度は4月1日から翌年3月31日の集計、2016年度は1月1日から12月31日の集計

(2) PRTR法対象物質集計結果(2016年1月~12月)

単位: kg/年

政令 No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
53	エチルベンゼン	3,410	0.0	0.0	0.0	0.0	3,144
80	キシレン	6,484	0.0	0.0	0.0	0.0	5,978
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	2,851	0.0	0.0	0.0	0.0	2,628
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	765	0.0	0.0	0.0	0.0	705
300	トルエン	220	0.0	0.0	0.0	0.0	202
302	ナフタレン	1,052	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
392	N-ヘキサン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ 拠点ごとの年間取扱量が1t(特定第1種は0.5t)以上の物質について集計

宇都宮工場

4. サイトデータ(2016年1月～12月の実績)

INPUT

※製品に充てんした燃料も集計対象に加えています。

エネルギー使用量	原油換算 KL	2,534
水使用量	万m ³	7.1

OUTPUT

エネルギー起源CO ₂ 排出量	t-CO ₂	5,095
----------------------------	-------------------	-------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		ボイラー		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値
SO _x	—		硫黄分ゼロの都市ガス使用		
NO _x	ppm		濃度規制	150	29
ばいじん	g/m ³ N		濃度規制	0.1	0.001

排水量	公共用水域	万m ³	10.9
	下水道	万m ³	—
汚濁負荷量	COD	kg/年	—
	窒素	kg/年	—
	りん	kg/年	—

排水	放流先	項目	単位	末端排水口	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	最小値, 最大値	5.8～8.6	7.3, 7.8
		BOD	mg/l	25	8
		COD	mg/l	—	—
		窒素	mg/l	—	—
		りん	mg/l	—	—
		六価クロム	mg/l	—	—
		鉛	mg/l	—	—
		COD総量規制値	kg/日	—	—
		窒素総量規制値	kg/日	—	—
		りん総量規制値	kg/日	—	—
下水道		pH	最小値, 最大値	—	—
		BOD	mg/l	—	—
		COD	mg/l	—	—
		SS	mg/l	—	—

廃棄物排出量	t	305
再資源化率	%	99.2

VOC排出量	t	14
--------	---	----

宇都宮工場

5.環境トピックス

排水処理へのバイオループ(BL)式接触曝気法導入による余剰汚泥削減

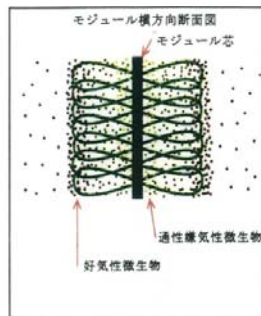
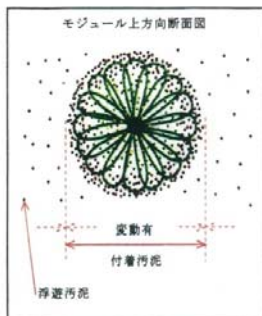
1. BL式接触曝気法では浮遊汚泥とBL表面に付着している好気性汚泥が主にBODを食べてどんどん増殖します。
2. BL内部の嫌気性汚泥が増殖した好気性汚泥を食べる仕組みのために、嫌気性層が大きいと余剰汚泥が減少します。
3. 水槽が1槽目から4層目に行くほどBODが少ない環境になりエア一の供給量が減少します。
4. 好気性汚泥中の細菌類を食べる糸ミミズなどの後生動物がBLに付着し保持する事で余剰汚泥を減らすことにつながります。

※BOD・・・生物化学的酸素要求量(微生物がよごれ(有機物)を食べるために使った酸素の量)

※好気性微生物・・・酸素を必要とする微生物

※嫌気性微生物・・・酸素を必要としない微生物

モジュール(バイオループ)概念図



6.環境コミュニケーション

当社の企業活動は顧客および地域住民の協力なくして成り立たないと認識し、下記活動などを通じて地域との融和に努めています。



2016ジャパンカップサイクルードレース クリテリウムでの立哨ボランティア参加

実施日:2016年10月22日

参加者:90名

クリテリウムにおける立哨ボランティア(会場準備・解体、立哨)および終了後の清掃作業



ゴミクリーン作戦と歴史散歩

実施日:2016年11月13日

参加者:25名

工業団地で働く人、家族によるゴミクリーン作戦を展開。併せて歴史的史跡を訪ねる。今回は宇都宮市街を散策